

お客様へ

この度は、タキズミ照明器具をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。「取扱説明書」をよくご覧のうえ、正しく安全にご使用ください。ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。保証書はお買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

この説明書は工事終了後、この器具をご使用になるお客様にお渡しください。



品番 ROV12172




【安全上のご注意】必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

◆お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

		してはいけない内容です。
		実行しなければならない内容です。

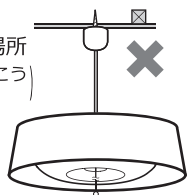
警告

■ 取付面

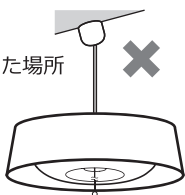
- 次のような場所には取り付けないでください。
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
◎ この器具は水平天井専用です。



補強のない場所
(ベニヤ板や石こう
ボードなど)



傾斜した場所

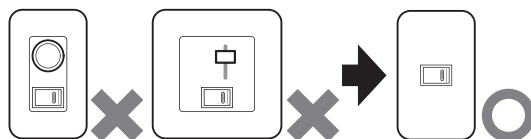


■ 壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、
一般の入切スイッチに交換してください。
火災のおそれがあります。
◎ 販売店、工事店に交換を依頼してください。
(工事には資格が必要です)



必ず守る



■ 配線器具

- 次のような配線器具(ローゼット・引掛シーリング)
には取り付けないでください。
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

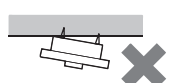


禁止

◎ 販売店、工事店に交換を依頼してください。
(工事には資格が必要です)



ガタつきがあるもの
破損しているもの



斜めに取り付け
られたもの



電源端子が
露出しているもの

■ その他



必ず守る

- 交流100ボルトで使用してください。
過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。
- 異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。
異常状態が収まったことを確認し、お客様相談室にご相談ください。



禁止

- スイッチ引きひもなどに、無理な力をかけないで
ください。
器具の落下によるけが、故障などのおそれがあります。



分解禁止

- 器具を改造したり、部品を交換しないでください。
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

注意

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

◎ 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。

(弊社ホームページより書式をダウンロードしてご使用ください) <https://www.takizumi-denki.com/publics/index/208/>



必ず守る

- 取り付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるように注意してください。
転倒・落下してケガをするおそれがあります。

- セードなどが破損した場合、けがの原因になることがありますので、破損部分に直接手や肌などを
触れないでください。

◎ 破損した状態のまま使用すると感電、けがの原因になることがあります。販売店に点検、部品の交換、修理を依頼してください。

- この製品は5℃~35℃の範囲内で使用してください。
火災、感電の原因となることがあります。

- 付属の梱包材は取り除いて使用してください。
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意



接触禁止

- 点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらないでください。やけどの原因となることがあります。
- ◎お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてから行ってください。



水ぬれ禁止

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- ◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



禁止

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かないでください。火災の原因となることがあります。
- ◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。
- LEDを直視しないでください。目の痛みの原因となることがあります。

各部のなまえと付属部品

取付ける前にまず付属部品をご確認ください

照明器具

リモコン付属部品

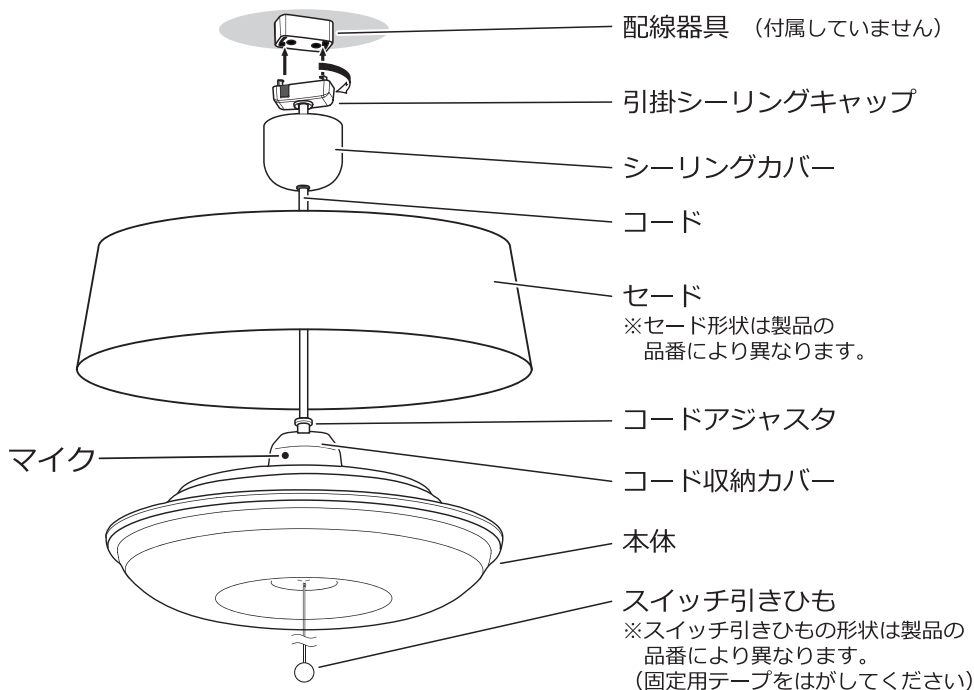
リモコン
(補修品番
TLR-009)



単4形乾電池
(2本)



※動作確認用のため
電池寿命が短い
場合があります



照明器具を取り付ける

安全のため、必ず電源を切ってから行ってください

1 天井の配線器具を確認する

天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。



下記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(工事には資格が必要です)



角型引掛シーリング



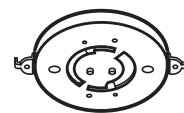
丸型引掛シーリング



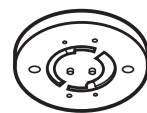
丸型フル引掛シーリング



フル引掛ローゼット



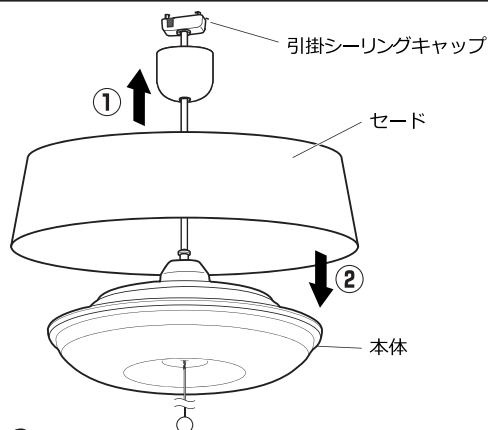
引掛埋込ローゼット
(ハンガー付)



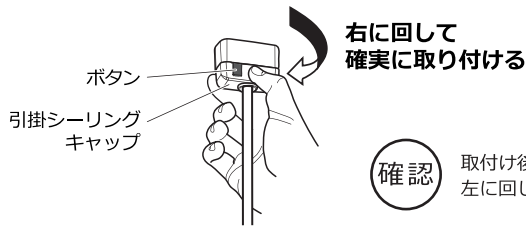
引掛埋込ローゼット
(ハンガーなし)

2 本体にセードをのせる

- ①引掛シーリングキャップをセードに通し、
- ②本体にセードをのせる



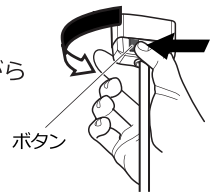
3 配線器具に引掛シーリングキャップを接続する



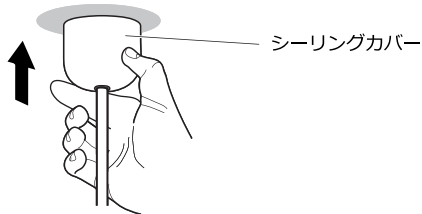
取付け後、ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する

【取りはずし方】

- ① ボタンを押しながら
- ② 左にまわす



4 シーリングカバーを天井面に押し上げる



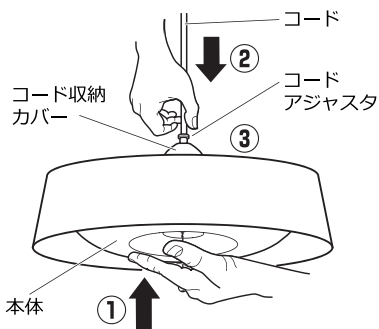
- 器具の吊下げ高さを調節する場合は、コードの長さを調節してください

⇒3ページ 手順 **5** を参照

5 コードの長さを調節する

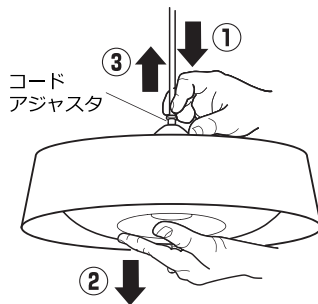
【短くする場合】

- ① 本体を持ち上げながら、
- ② コード収納カバー内にコードを押し込む
- ③ コードの長さを調節後、コードアジャスタを引き上げてコードを固定する

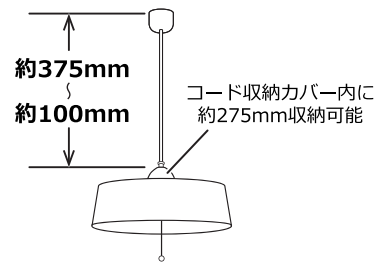


【長くする場合】

- ① コードアジャスタを押さえながら、
- ② 本体を引き下げる
- ③ コードの長さを調節後、コードアジャスタを引き上げてコードを固定する



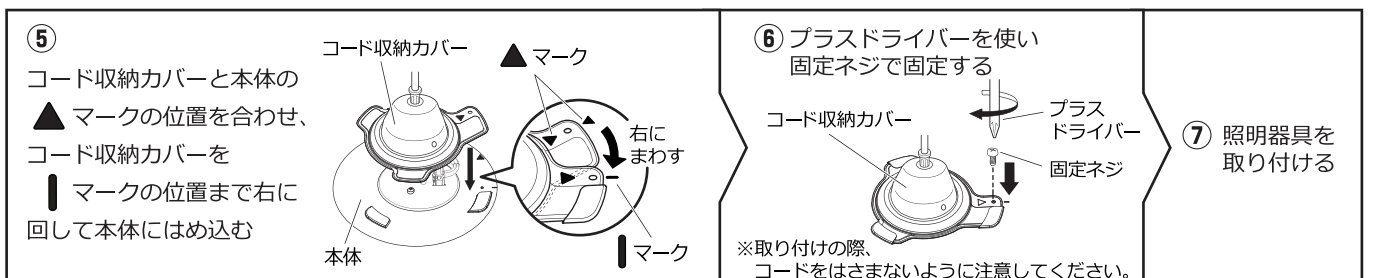
コード長 調節範囲



※コードをコード収納カバー内に収納する際、無理に押し込み過ぎると、コード収納カバー内でコードが引っ掛り調節が出来なくなる場合があります。下記の【コード収納カバーから引き出せない場合】の手順で引っ掛りを直してください。

【コード収納カバーからコードが引き出せない場合】

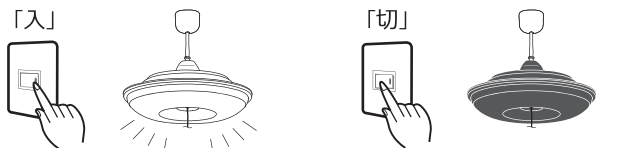
コード収納カバー内でコードが引っ掛かるとコードが調節できなくなります。以下の手順でコードの引っ掛りを直してください。



あかりをつける・消す

壁スイッチで照明器具を操作する

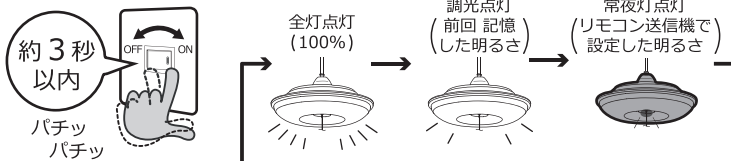
点灯・消灯する



記憶している前回の状態で点灯します (初期設定：消灯) 現在の状態を記憶して消灯します

- 壁スイッチをONにしても点灯しない場合は、壁スイッチを約3秒以内にOFF⇒ONと切り替えるか、リモコンで点灯状態を切り替えてください。
- 消灯状態で「切」にすると次に「入」にしたときも消灯状態になります。

点灯状態を切り替える



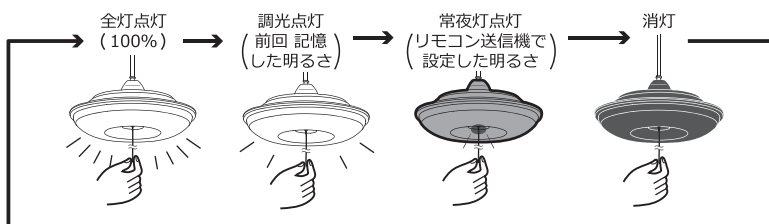
壁スイッチを素早く(約3秒以内に) OFF ⇒ ON を切り替えると上図のように点灯状態が切り替わります

- 調光点灯の初期設定は、【明るさ：100%】の状態で記憶されています。
- 壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用した場合、点灯状態が同時に切り替わらないことがあります。

スイッチ引きひもで照明器具を操作する

点灯状態を切り替える

スイッチ引きひもを引くたびに、図のように点灯状態が切り替わります



- 調光点灯の初期設定は、【明るさ：100%】の状態で記憶されています。
- 常夜灯点灯の初期設定は、【最大の明るさ】の状態で記憶されています。
- 壁スイッチ、スイッチ引きひもで操作したときの調光点灯は、リモコンのメモリー点灯ボタンで記憶させた点灯状態 (5ページ) とは異なる場合があります。

リモコンについて

リモコンで照明器具を操作する 壁スイッチは「入」の状態にしてください

リモコンのボタンについて

※リモコンなどの付属部品は1年保証です (乾電池を除く)

全灯・消灯ボタン

全灯(昼光色・100%の明るさ)、消灯をおこないます。押すたびに 全灯⇒消灯⇒全灯⇒・・・を繰り返します。

- この器具は、リモコンで消灯している場合約1W以下の電力を消費しています。長期間ご使用されない場合、壁スイッチをOFFにしておくことをおすすめします。

調光ボタン

明るさを調節します。調光範囲：100%～約10%まで

調光ボタン(明/暗)を同時に長押し(6秒以上)で操作する照明器具のチャンネルが切り替わります。

⇒6ページの「チャンネルの設定方法」を参照

常夜灯ボタン

常夜灯を点灯、ボタンを押すたびに明るさを調節します。調光範囲：明暗上下5段階 初期設定：最大の明るさ(5段階)

メモリー点灯ボタン

メモリー設定操作をした「明るさ」で点灯します。ボタンを長押し(2秒以上)で点灯状態を記憶します。

- ⇒初期設定は【明るさ：100%】
- ⇒5ページの「点灯状態を調節し記憶させる」「記憶した明るさをワンタッチで点灯する」を参照

offタイマーボタン

offタイマーをセットすると30分後または60分後に自動消灯をおこないます。タイマー設定後、offタイマーボタン以外のボタンを押すと「ピー」とブザー音が鳴りタイマーは解除されます。必要な場合は、改めてタイマー設定をおこなってください。

チャンネル切替スイッチ

チャンネル切替スイッチは電池蓋の中にあります。操作する照明器具のチャンネルを設定する場合に使用します。

⇒6ページの「チャンネルの設定方法」を参照

電池蓋

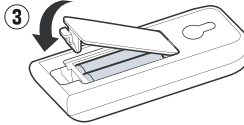
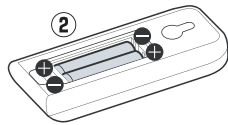
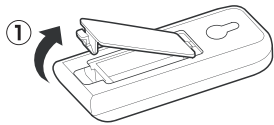
押すごとに《60分後消灯》⇒《30分後消灯》を繰り返します



リモコン乾電池の入れ方

- ①リモコン裏側の電池蓋をはずす ②電池の⊕⊖を正しく入れる ③電池蓋を取り付ける

電池は⊖側接点をリモコンのパネに正しく押し当てながら装填する



- 使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
- リモコンに付属の電池は動作確認用のため電池寿命が短くなる場合があります。
- 電池を入れる時、電池に傷をつけたり、カバーを破らないようにしてください。
- 発熱、破裂、発煙、発火のおそれがあります。
- 電池交換時は2本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
- 長期間使わない時は電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)

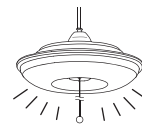
点灯状態を調節し記憶させる

リモコンのメモリー点灯ボタンで、好みのあかりを記憶することができます

- ①リモコンの「全灯ボタン」を押して点灯させる



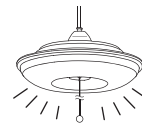
点灯



- ②リモコンの「調光ボタン」を押して、お好みの明るさに調節する



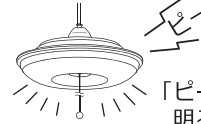
明るさ調整



- ③リモコンの「メモリー点灯ボタン」を長押し(約2秒以上)して明るさを記憶する



記憶完了



「ピー」とブザーが鳴り明るさを記憶

- 再び上記の操作を行うまでは、記憶した明るさを保持します。

長押しする(約2秒以上)

記憶した明るさをワンタッチで点灯する

記憶した明るさをワンタッチで点灯することができ、「お気に入りの点灯状態」としてご利用できます

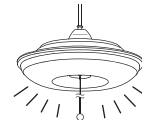
リモコンの「メモリー点灯ボタン」を押して点灯させる

- 常夜灯はメモリー点灯ボタンで記憶できません。
- 初期設定は、【明るさ：100%】の状態に記憶されています。



ワンタッチで点灯させる時は短く1回押す

記憶した明るさで点灯



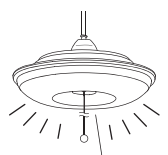
確認

リモコンを操作する場合は、照明器具本体に送信部を向けて操作してください。



送信部

リモコン



照明器具本体

リモコンの便利な使い方

2台までのリモコン照明器具を操作する（照明器具のチャンネルを変更できます）

チャンネル設定でできること

- リモコンのチャンネルを切り替えると1台のリモコンで複数の照明器具を操作できます。

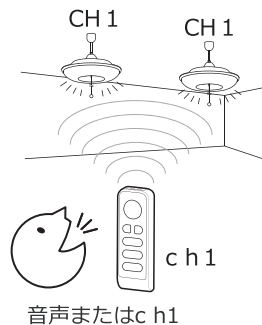
※リモコンで操作できない時は、リモコンと照明器具とのチャンネル設定が合っていない可能性があります。

⇒6ページ「チャンネルの設定方法」を参照

音声操作は、本体を「チャンネル1」に設定した場合でのみ操作可能です。本体が「チャンネル2」に設定されている場合は、音声操作ができません。

【2台の器具を同時に操作する】

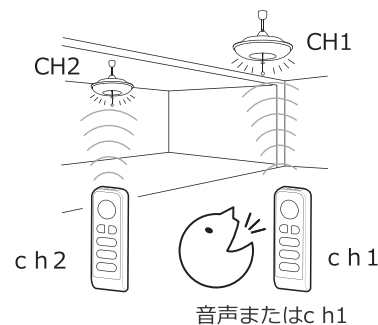
《使用例》
部屋に2台のリモコン照明器具(タキズミ製)がある場合



音声またはc h1

【2台の器具を別々に操作する】

《使用例》
隣室にもリモコン照明器具(タキズミ製)がある場合



音声またはc h1

チャンネルの設定方法

- チャンネルの初期設定は照明器具本体、リモコン共にch1に設定されています。

照明器具本体を **ch2** に設定する場合

①チャンネル設定 **ch2** に設定したい器具のみを壁スイッチONにする

②リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch1** の位置にスライドする

③照明器具本体にリモコンを向けながら「調光ボタン **明** **暗**」を約6秒以上同時に長押しする

（「ピーピーピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch1→ch2** へ切り替わります。

④リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch2** の位置に切り替えて使用してください

（※照明器具本体のチャンネル設定がch2に切り替わっているため、リモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。

照明器具本体を **ch1** に設定する場合

①チャンネル設定 **ch1** に設定したい器具のみを壁スイッチONにする

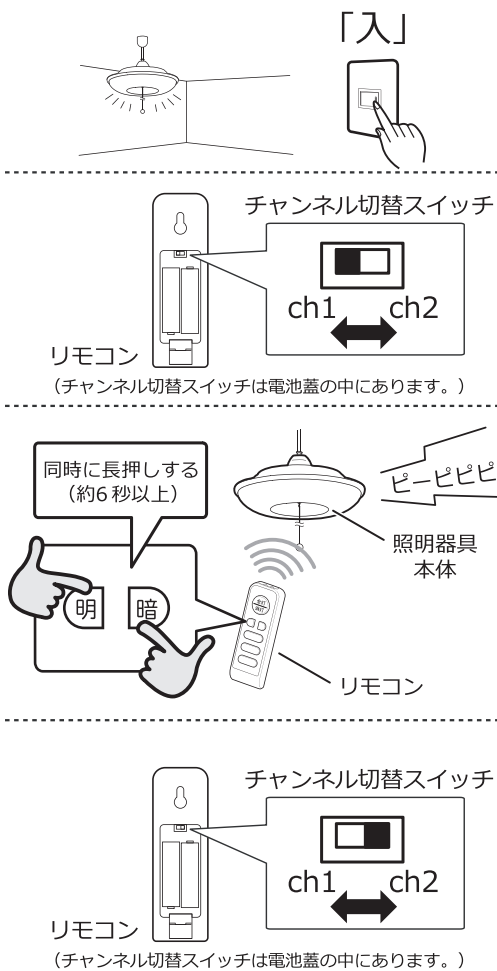
②リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch2** の位置にスライドする

③照明器具本体にリモコンを向けながら「調光ボタン **明** **暗**」を約6秒以上同時に長押しする

（「ピーピーピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch2→ch1** へ切り替わります。

④リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch1** の位置に切り替えて使用してください

（※照明器具本体のチャンネル設定がch1に切り替わっているため、リモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。



リモコン
(チャンネル切替スイッチは電池蓋の中にあります。)

リモコン
(チャンネル切替スイッチは電池蓋の中にあります。)

リモコンは、他のタキズミ製リモコン付照明器具に対しても操作できますが、チャンネルの設定の方法はその商品の取扱説明書をご参照ください。また、機種によってはリモコンで操作できる機能が制限される場合があります。

音声であかりを操作する

音声操作は照明器具本体が「チャンネル1」でのみ操作可能です

合言葉で照明器具を操作する（壁スイッチは「入」の状態にしてください）



- ・照明器具を取付けて、壁スイッチを「入」にしてください。特別な設定は不要です。
 - ・照明器具に向かって下記の合言葉をかけてください。照明器具が動作します。（※合言葉は変更できません）
 - ・音声とリモコンの両方で操作が可能です。（照明器具本体、リモコンがチャンネル1の場合）
- ※初期設定はチャンネル1です。音声での操作がご不用の場合は照明器具本体、リモコンをチャンネル2でお使いください。
 ※この器具は、音声またはリモコンで消灯している場合約1W以下の電力を消費しています。長期間ご使用されない場合、壁スイッチをOFFにしておくことをおすすめします。
 ※音声操作の認識は100%動作を保証するものではありません。

合言葉	点灯動作
ラボでんきつけて	▶ メモリーの状態になります。 ※1
ラボでんきけして	▶ 消灯します。
ラボぜんとう	▶ 全灯します。
ラボあかるく	▶ 3段階明るくなります。 ※2
ラボくらく	▶ 3段階暗くなります。 ※2
ラボまめきゅう	▶ 常夜灯になります。

※1：メモリーのおこのみの明るさ設定は付属のリモコンで行ってください。（初期設定 明るさ：100%）

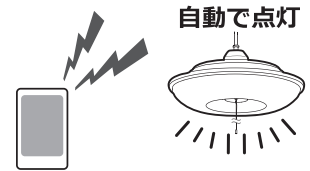
※2：点灯状態が上限または下限に達した時には、ビビビと短くブザー音が鳴ります。

速報音で照明器具が自動点灯（壁スイッチは「入」の状態にしてください）

災害発生時などにスマートフォンや携帯電話などから発せられる速報音で照明器具が自動点灯します。

注意）停電時や壁スイッチが「切」の時や、照明器具が「チャンネル2」の状態では点灯しません。また、周囲の状況によっては点灯しない場合があります。

速報音	点灯状態
緊急地震速報	▶ 全灯
津波警報・災害避難情報	▶ メモリー点灯
気象等に関する特別警報	▶ メモリー点灯ボタンに記憶した「明るさ」で点灯します



※端末(スマートフォン・携帯電話等)が照明器具から遠い場所にある場合、複数の端末で同時に速報音となった場合、電気通信業者の速報音の種類によっては認識しない場合があります。

故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

下記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

現象	考えられる原因と点検事項・対策
点灯しない	壁スイッチがOFFになっている ➡ 壁スイッチをONにしてください ⇒ 4ページ・・・
リモコンで操作できない	リモコンと器具のチャンネルが合っていない ➡ リモコンと器具のチャンネルを合わせてください ⇒ 6ページ・・・
	リモコンの電池が正しく入っていない ➡ リモコンの電池を正しく入れてください ⇒ 5ページ・・・
	リモコンの電池が消耗している ➡ リモコンの電池を交換してください ⇒ 5ページ・・・
勝手に点灯する	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある ➡ 壁スイッチをOFFにしてください ⇒ 4ページ・・・ リモコンまたは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替えてください ⇒ 4ページ・・・
	速報音で自動点灯している ➡ ご不在の際も屋外の放送を認識して自動点灯する場合があります
	会話、テレビ、音楽、ラジオなどの音を認識している ➡ 周囲の音を認識する場合があります
勝手に消灯する	offタイマー30分/60分がセットされている ➡ offタイマー30分/60分を解除してください ⇒ 4ページ・・・
	会話、テレビ、音楽、ラジオなどの音を認識している ➡ 周囲の音を認識する場合があります
音声で動作しない 音声で動作しにくい	壁スイッチがOFFになっている ➡ 壁スイッチをONにしてください ⇒ 4ページ・・・
	合言葉が異なり認識していない ➡ 正しい合言葉を最後まではっきりと発音してください ⇒ 7ページ・・・
	照明器具が「チャンネル2」の状態になっている ➡ 音声操作時は照明器具本体を「チャンネル1」の状態にしてください ⇒ 7ページ・・・
	“ラボ”と“操作指示”の間に間隔を開けると認識しにくい場合があるため、間隔をあけずに発音ください (例) 「ラボ でんきつけて」 ➡ 「ラボでんきつけて」

現象	考えられる原因と点検事項・対策
音声中で動作しない 音声で動作しにくい	声や響く環境、声を張っての発音や語尾を上げる発音は認識しにくい場合があります
	周囲の音が大きいき、音声を認識しにくい場合があります
	類義語、方言などを誤って認識したり、または認識しにくい場合があります
その他	本製品を複数台、近距離で設置した場合には動作にずれが生じたり、動作しにくい場合があります

ご使用上に関するお知らせ

【ご使用上の注意点】

- 点灯中や消灯後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 木や和紙など素材を使った商品は天然素材の特性上、同一品番でも商品ごとに寸法および色合い模様が多少異なる場合があります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチがないと、リモコンの電池が消耗した場合やリモコンを紛失した場合に点灯消灯ができません。
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- LED、常夜灯にはパラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- 照明器具が点灯しない場合は、電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像通信機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

仕様

使用電圧	周波数	消費電力	入力電流
AC100V	50/60Hz共用	全灯: 32.9W 常夜灯: 1.3W 待機時: 1W以下	0.34A

お手入れについて

電源を切って、本体やその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に下記の手順で清掃してください。

【本体】

汚れは、やわらかい布を石けん水に浸し、よく絞ってから軽く拭き取る。必ず最後にやわらかい布で乾拭きをする。（水洗いはできません）

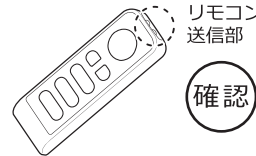
【カバー（プラスチックのもの）】

汚れは、やわらかい布を石けん水に浸し、よく絞ってから軽く拭き取る。必ず最後にやわらかい布で乾拭きをする。

【カバー（木・竹・和紙など）】

ハタキ・ハケ・やわらかいブラシ等でこまめにホコリを払い落とす。（水洗いはできません）

- 使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
- リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。交換時は2本とも新しい同じ種類のものを使用してください。長期間使わないときは電池を取り出してください。（液漏れによる故障防止）
- リモコンの送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。



確認

シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります）
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

タキズミ照明器具保証書

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

<保証について>

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- ご購入の場合の修理依頼先は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。
- 二次販売、ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、下記「お客様相談室」までご相談ください。
- 保証期間は製品お買い上げ日から5年間です。（本体、LED器具の点灯装置）但し、付属部品は1年間です。
お買い上げ日より5年以内に故障が発生した場合は、保証規定の範囲で無料修理させていただきます。
※24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
(1)使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
(2)お買い上げ後の取付場所の移送、輸送、落下等による故障および損傷
(3)ご使用による器具のキズ、汚れ、および自然劣化
(4)各部材の経時変化による外観の劣化やそれに伴う照明機能低下
(5)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
(6)一般家庭用以外（例えば業務用等や車両、船舶等に搭載）に使用された場合の故障および損傷
(7)施工上の不備に起因する故障や不具合
(8)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わない事による故障および損傷
(9)本書および領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示がない場合
(10)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合

<アフターサービスについて>

- 保証期間中に万一故障が起きた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店までお申し出ください。
- 保証期間終了後は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- アフターサービスについての不明な点や修理に関するご相談は、下記「お客様相談室」までご相談ください。
- 弊社は照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後最低6年間保有しています。
（※セードなどの電気部品以外の部品は含まない）
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。
※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理について不明な点はお買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。

品番	ROV12172	保証期間 (お買い上げ日から)	保証期間		お買い上げ日	年 月 日
			本体、LED器具の点灯装置	カバー、付属部品など		
			: 5年間	: 1年間		
お客様	お名前		販売店名・住所・電話番号			
	ご住所 〒 -					
	電話番号 () -					

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及び、その後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。

ご不明な点などは下記までご連絡ください。

瀧住電機工業株式会社

〒546-0035 大阪市東住吉区山坂2-21-16

本製品自体に関するお問合せ

フリーダイヤル 0120-226-544

受付時間/月～金（土、日、祝日、夏季、年末年始休業日を除く）9:00～17:00

<http://www.takizumi-denki.com/>

音声操作に関するお問合せ

フリーダイヤル 0120-967-178

受付時間/月～金（土、日、祝日、夏季、年末年始休業日を除く）10:00～17:00

リモコン送信機 TLR-009 チャンネル切替操作について

製品により付属のリモコン送信機の種類が異なります。(下写真の2種類)

2種類のリモコン送信機の基本操作は同じですが、チャンネル切替時のみ操作が異なります。

商品に付属のリモコン送信機をご確認のうえ、正しい手順でチャンネル切替操作をおこなってください。

外観での見分け方 と チャンネル切替操作

リモコン送信機の表面下に印刷された弊社ロゴマークをご確認ください。

「あかりのTAKIZUMI」または「TAKIZUMI」のいずれかであることを確認し、それぞれの手順でチャンネル切替操作をおこなってください。

詳しくは商品に付属の取扱説明書をご確認ください。

「あかりのTAKIZUMI」のロゴマークの場合



【チャンネル切替操作】

明るさボタン **明** **暗** の
両方のボタンを同時に長押し(6秒以上)
してチャンネルを切替える。

「TAKIZUMI」のロゴマークの場合



【チャンネル切替操作】

全灯・消灯ボタン **全灯/消灯** を押して
照明器具を消灯状態にしてから、
全灯・消灯ボタン **全灯/消灯** を長押し
(6秒以上)してチャンネルを切替える。